競技麻雀同好会設立希望にあたって

電気電子工学科　百瀬成空

麻雀を囲碁や将棋のような一つの知的競技と捉え，その技術の向上に努めることを目指すことに賛同する一方で，麻雀が持つ特性とそれに対する取り組みに対して，指導教員の候補として希望を受けた側から意見します。

麻雀には見えない・不確定な要素が多分に含まれ，にも関わらず試合中には矢継ぎ早に多くの選択を求められます。取るべき最善の選択肢を選び続けたとしても思うようにいかないことの方が多く，その中において心の平静と集中を保ち，広い選択肢を視野に入れたうえで，素早く正しく選択することを，試合の最後まで続けるには，相当な体力と気力が求められます。加えて，相手の手が見えないが故に，弱気や無謀，不要な思い込みから本来選ぶべき選択肢すら選べなくなる場合も多いです。

どうにもならない部分の多い麻雀を長時間続けていると，疲れや気だるさ，いい加減さ，だらしなさ，投げやり，怒り，油断といった人間の弱い部分が，姿勢や発声，動作や態度に出てきます。「麻雀には人格が出る」と言われる所以であり，麻雀に貼り付いているマイナスのイメージはおそらくこんな所にあると思います。

つまり，良い麻雀を最後まで打ち切るには，戦略・技術を磨くことだけでは足りないと思うのです。日常生活のだらしなさ，弱さが麻雀に出るのならば，麻雀以外の日常においてどれだけ自分を律することができるかが求められるはずです。

思うようにいかないことばかり，面倒なことばかり，それでいて忙しい時間の中で多くの選択・行動をしていかなければならないのが人生です。目の前の生活のひとつひとつに「考え込んでいても仕方が無い」「与えられた時間を大切にしよう」「今できる最善を選んですぐに行動しよう」「うまくいかなくたってしょうがない，いつだってできる限りのことをやるのみだ」「目の前の苦しいこと，面倒なことから逃げずに向かい合おう」という気持ちを込められるようになれば，その姿勢は麻雀にも反映されるでしょう。

自分のだらしなさや弱さと向かい合うことはたいへん厳しいことです。大人だってきちんと向かい合っている人は少ないのではないでしょうか。これを乗り越えていくのに大きな支えになるのは，同じ目的の下に集まる仲間の存在だと思います。仲間が一生懸命やっていればそれが自分にとっての励みになるでしょうし，逆に自分の動作・振る舞いが相手を奮い立たせることもできるでしょう。仲間と良い試合を作り上げようと思えば，心を込めて挨拶・発声する，失礼な姿勢や態度を見せない，無駄な時間を作らない，などの，仲間や試合に対する「大切心」が求められるはずです。

以上を同好会活動に反映させる具体的な方法として，試合前と後に心を入れた挨拶をする，姿勢，態度，動作，発声を正して試合を最後までやり切る，無駄な時間をかけない試合を心がける（思考と動作に無駄を入れない），集合時間や約束を破らない（日常生活においても。意志の強さを育てる），本分の学業においても手を抜かない，などが挙げられます。

本校の課外活動におけるもっとも大きな目標は，教育理念にもある「優れた人間」の育成です。上記したように，貴会の活動が単なる戦略・技術を育てるのではなく，人間そのものを育てる活動になるのであれば，少なくとも私は教育活動の一として心からあなたたちを応援します。

入会希望者全員が上記に賛同され，貴会がこれから掲げる理念，目的，活動内容に，「自分自身を育てる」「志を共にする仲間を心から大切にする」思いが込められるのであれば，申請書類に印を押し皆さんを応援します。もう一歩の熟慮を望みます。